

嘉永元年創業、今年で創業170年 最長10m超の長尺シャフト軸の加工、 研削を行う国内唯一のメーカー

黒田機器



大使館としても使われていたことが
あるおしゃれな洋館（北区、東京工場の事務所）

てつくられた機械の60〜70%は海外に輸出されている。

ほとんどの大型の機械には軸があり、同社の製品はその軸に使用されている。具体的には、船のカム軸、試験機のネジ軸、ポンプ軸などが挙げられ、非常に高い精度が必要となる。同社で加工可能な長さは最長10m超、全25台にのぼる充実した設備を有し、大ロット、小ロット、短納期にも機動力で対応でき、切削から研磨、メッキまで必要な加工をトータルでお受けし、スピーディーに完成品をご提供している。

お客様とともに歩み、柔軟な対応をモットーとしてこれからも進化し続ける「黒田機器」へ、長尺シャフトのことなら何でもお気軽にご相談を！

黒田機器（本社：千代田区神田須田町、03・3251・8281、工場：北区志茂、03・3902・2226、黒田栄次郎社長、<http://www.kurodacki.co.jp/>）は、超精密技術と豊かなノウハウを持って長尺精密シャフト軸の加工、研削を行い、独自の技術で生み出す製品は、船舶や産業・工業機械など、多くの分野を支えている。

同社は創業嘉永元年（1848年）の老舗であり、当初は刀鍛冶屋として、武器甲冑などの製作を手がけていた。明治維新以降は、刀鍛冶の技術を背景に主に船舶、車両などのシャフトやネジの精密加工を行うようになる。その後は、産業機械の基礎である素材部品の精密性や品質の向上に努力を続け、現在では北海道から九州まで国内全域に製品を供給、同社が納入したシャフトを使っ



他社には真似できない長尺精密シャフト軸の技術